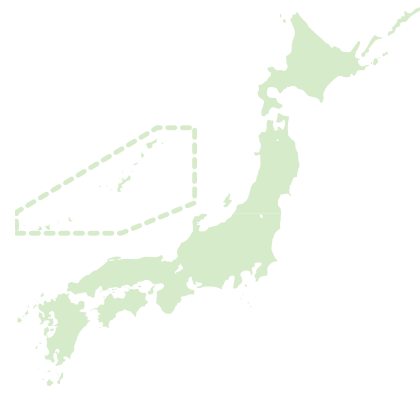


令和元年度

「言語聴覚の日」イベント報告



愛媛県

愛媛県言語聴覚士会では毎年、県の東部(東予)、中央(中予)、南部(南予)で言語聴覚の日関連行事として様々なイベントを企画、運営してきました。

ショッピングモールで一般の方への啓蒙活動やパネル展示と講演会の同時開催などを行っています。

今年、東予では、西条市地域創生センターにて一般市民を対象に講演会を開催しました。「加齢性難聴と補聴器」というテーマで愛媛大学耳鼻咽喉科、寺岡正人先生をお招きして、講演いただきました。難聴と認知症の関係がとりあげられたことから関心は高まりをみせているようで医療福祉関係者の参加もみられました。

講演では耳の構造やきこえの仕組み、難聴の種類などの基本的な事から、難聴と認知症の関係や難聴の予防、補聴器についてまで、丁寧にお話いただき一般の方々にも理解しやすいお話でした。

また、会場内には西条市内に店舗を構える補聴器メーカーさんにもご協力いただき、展示ブースを設け、補聴器の模型展示や補聴器体験などを行いました。展示ブースには、メーカーの方の話を熱心に聴く来場者の姿や言語聴覚士の姿がありました。メーカーの方も「地域の住民の方や言語聴覚士の方と話す機会が持てたことをうれしく思う」と話されていました。

例年通り、言語聴覚士の仕事や失語症・構音障害・聴覚障害を紹介したパネル展示も行いました。パネルの前には来場者が立ち止まってみており、言語聴覚士とはどのような仕事か、どのような方々に関わる仕事なのか知っていただく機会となったのではないかと思います。一般市民には言語聴覚士のことを知らない人がいるという話を聞くと、知名度を高めるためにも、啓蒙活動の継続は必要であると思います。

今回の活動を通して、こうした行事が我々言語聴覚士の関わる領域の関連職種や地域の方々の交流の場となることを実感しました。得られたつながりを大切に、地域の方々へも貢献できるような活動が継続できるよう働きかけたいと思います。

